

立命館大学 第3回21世紀COE 放射光生命科学センター 年次報告会

2005年11月28日 午前10時より 立命館大学 ローム記念館 大会議室

特別講演

J T生命誌研究館 館長 中村桂子
「生命誌 - 学問と日常をつなぐ知」

ファルマ・アクセス株式会社 社長/元・大阪大学蛋白質研究所 所長 勝部幸輝
「放射光利用によるたんぱく質構造研究の最近の動向」

COE拠点リーダー/放射光生命科学センター長 山田廣成
「みらくるの新たな展開と放射光生命科学センター将来計画」

-口頭発表-

- 「温度感受性受容体TRPVを介した環境温度受容機構」(小田-望月紀子)
- 「卓上型高輝度X線発生装置「みらくる6X」の現状と制動X線の絶対線量測定」(森田正樹)
- 「バクテリオクロフィル c 生成に関与するメチル基転移酵素BchUの機能解析」(原田二郎)
- 「みらくる20のFTIRビームラインを利用した水構造研究」(三浦信広)
- 「近赤外分光顕微鏡による癌組織のイメージング」(三好憲雄)
- 「みらくる20からの赤外線と光蓄積リングレーザー発振」(文雅司)
- 「バクテリオクロフィル-a誘導体の合成と光学特性」(佐々木真一)
- 「"みらくる-6X"における結晶ターゲットからの干渉X線観察」(花島隆泰)
- 「分散型分光器を用いた赤外線照射実験」(菊澤健)
- 「ミドリゾウリムシ共生藻における遺伝的多様性と共生イベントに関する研究」(保科亮)
- 「ヨシバイオフィームに棲息する微生物-フロラの季節変動と光の関係に着目して-」(奥西将之)
- 「みらくる-6Xを用いた拡大CT撮影」(佐々木誠)
- 「みらくる-6Xを用いた高倍率X線拡大投影イメージング」(平井暢)
- 「モデルペプチドから見たヘリックス蛋白質の安定性-その物理的意味」(谷口吉弘)
- 「Development of Sub-Micron Al Foils Targets for Generation of Transition Radiation in MIRRORCLE」(Dorian Minkov)

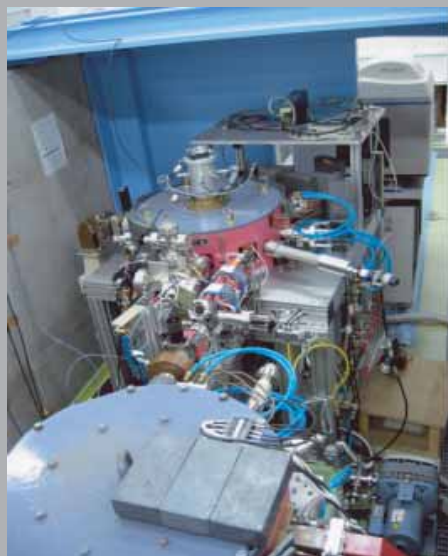
-ポスター発表-

- 「ミドリゾウリムシ共生藻の特異的な性質について」(加藤豊)
- 「電解質水溶液の赤外分光鏡による液体構造研究」(西川起史)
- 「みらくる20の赤外線ビームラインの現状」(文雅司)
- 「卓上型高輝度X線発生装置「みらくる6X」の現状」(森本竜一)
- 「遠赤外線とガン細胞の相互作用研究」(橋本篤)
- 「みらくる-6Xを用いたステレオグラフ立体投影画像」(高久純也)
- 「みらくる6Xを用いた硬X線顕微鏡の開発」(平井暢)
- 「みらくる-6Xを用いた拡大CT撮影」(小田泰史)
- 「遷移放射軟X線強度の絶対値測定」(山口敏弘)
- 「温度感受性受容体TRPVを介した環境温度受容機構」(小田-望月紀子)

17:50より 施設見学

放射光生命科学センター 高輝度X線発生施設 (MIRRORCLE6X)
放射光生命科学センター 高輝度赤外線発生施設 (MIRRORCLE20)

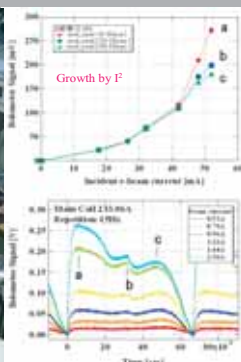
18:30より 懇親会



卓上型シンクロトロン:みらくる-6X

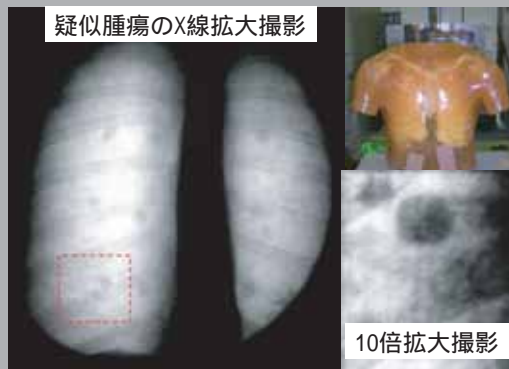


FT-IRとボロメーター遠赤外線検出器



I²に
比例
する
FIR
強度

増減
する
FIR
強度



疑似腫瘍のX線拡大撮影

10倍拡大撮影